

2018 年度事業報告書

特定非営利活動法人クロスカルチャーメディア

事業の成果・実施に関する事項

■文化の発信・保存および異文化理解促進のための メディア制作および情報収集

「情報誌および啓発パンフレット制作、映像コンテンツ制作、ウェブサイトの開設・運営」通年／日本、韓国、香港、ネパール他／12 人／おもに日本とネパールの一般市民

情報誌カトマンドゥジャーナル(旧・カトマンドゥ通信)は 1994 年の創刊から来年で 25 周年を迎えます。今年度は誌面の充実・制作に継続して取り組みながら今後の誌面リニューアルに向けて検討作業をおこないました。25 周年以降も現コンセプト Beyond the Boundaries にもとづき異文化理解促進のコンテンツを継続しながら有益で充実した誌面を心がけていきます。今年度は従来からの異文化理解・異文化コミュニケーションおよびカトマンドゥの生活文化に関するコンテンツだけでなく 2015 年に発生したネパール大震災で被災(あるいは一方で被災を免れた)伝統的な寺院や歴史的な建造物等についてもとりあげました。また、ネパール大震災の被災地および日本国内における関連した諸活動の成果等を受益者の声を含めて伝え



ました。その他ウェブサイトでの発信等、啓発に取り組みました。

■異文化理解・コミュニケーション促進のためのプログラム

「異文化コミュニケーション・ワークショップおよび講演、Discover Yourself プログラムの実施」通年／日本、ネパール／8人／おもに25歳未満のこどもたち・若者たち等一般市民1262人

今年度は日本とネパールで Discover Yourself プログラムおよび異文化コミュニケーションプログラムを実施しました。特に日本ではプログラムに参加した若者らによりよい変化が顕著にみられ大きな成果をあげました。今後は、今年度の成果をふまえながら、異文化コミュニケーションの促進に寄与するワークショップおよび講演とあわせて Discover Yourself プログラムのコンテンツを一層充実させていくことにより、こどもたち・若者たちにとどまらず多様な組織、幅広い分野を対象に展開し、より多くの参加者（受益者）に伝えていきます。

■災害体験者のメンタルケア・サポート（継続フォローアップ）

「ネパール大震災の被災地におけるこどもたち・若者たちのメンタルケア・サポートのフォローアップ」10～11



月／ネパール／9人／ネパール大震災の被災者・おもに
25歳未満のこどもたち・若者たち 496人

2015年に発生したネパール大震災から3年半が経過したネパールにおいて昨年度までの活動を継続・発展させメンタルケア・サポートをおこないました。2015年以降ネパールの被災地において活動を通じて直接出会ったこどもたち・若者たちは4000人以上になります。今年度は後述の防災教育・啓発の国際交流の活動との相乗効果で大きなインパクトが生まれました。3年半前の震災体験をあらためて受けとめ前向きに生きる力にすることができた多くの若者たちに出会うことができたことは今年度の意義ある成果のひとつでした。今後もプログラムに参加した若者たちの表現・発信によるメッセージを日本はじめ世界各地に伝えてひろく社会に還元していきます。

■ 防災教育・啓発の国際交流

「こどもたち・若者たちが経験から防災を伝えあい、学びあう防災・減災のための交流プログラム」通年／日本、ネパール／14人／おもに25歳未満のこどもたち・若者たち一般市民 4060人

未来を担うこどもたち・若者たちが経験を伝えあい、学びあう防災交流プログラム（未来のための防災国際交流）に取り組みました。9月までは日本の教育機関等に



において、こどもたちが防災を伝える表現活動の取り組みをおこないました。10、11月はネパールにおいて被災地の教育機関等で2015年のネパール大震災以降の経験を活かした表現活動の取り組みを被災地のこどもたち・若者たちの参加で進めました。また日本のこどもたちの作品をネパール各地でひろく展示しました。今年度の取り組みを通じて双方の社会における防災意識が深まり、また高めることができました。今年度の成果を活かして今後は日本とネパールにとどまらず世界のより多くのこどもたち・若者たちが互いに伝え、学びあうことによってグローバルな思いやりを育み、未来のための防災を実現すべく活動を継続・発展し充実させていきます。



(以上、いずれも特定非営利活動に係る事業について：事業名「事業内容」／実施日時／実施場所／従事者の人数／受益対象者の範囲及び人数および成果等を記載、その他の事業：なし)

写真：復興が進むカトマンドゥの様子（カトマンドゥ旧王宮およびソエンブナート寺院）（ネパール）／一般市民参加の講演（日本）／Discover Yourselfプログラム、メンタルケア・サポート、防災教育・啓発の国際交流プログラム（ネパールおよび日本）



©Cross Culture Media 本報告書の文章・写真など一部またはすべてを無断で複製、転用・転載することはご遠慮ください

2018年度 活動計算書

2018年(平成30年)4月1日～2019年(平成31年)3月31日

(単位 円)

科目	金額	
収入の部		
1. 受取会費	162000	
2. 受取寄附金	3682343	
3. 事業収益	0	
4. 受取助成金等	1000000	
5. 雑収益	25	
当期収入合計(A)	4844368	
前年度からの繰入金	58742	
収入合計(B)	4903110	
支出の部		
1. 事業費		
啓発	150000	
プロジェクト	3390295	
通信運搬費	62867	
2. 管理費		
役員報酬	600000	
旅費交通費	136750	
消耗品費	235534	
雑費	43632	
当期支出合計(C)	4619078	
当期収支差額(A)－(C)	225290	
次期繰越金(B)－(C)	284032	

2018 年度 財産目録

(2019 年 3 月 31 日現在)

科目	金額(単位:円)		
I 資産の部			
1 流動資産			
普通預金	284032		
流動資産合計		284032	
資産合計			284032
II 負債の部			
1 流動負債	0		
流動負債合計		0	
負債合計			0
正味財産			284032

2018年度 貸借対照表

(2019年3月31日現在)

科目	金額(単位:円)		
I 資産の部			
1 流動資産			
普通預金	284032		
流動資産合計		284032	
資産合計			284032
II 負債の部			
1 流動負債	0		
流動負債合計		0	
負債合計			0
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		58742	
当期正味財産増減額		225290	
正味財産合計			284032
負債及び正味財産合計			284032